

会議録（案）

会議の名称	西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会（第4回会議）
開催日時	平成24年10月22日（月） 午後2時から午後3時42分まで
開催場所	西東京市立ひばりが丘中学校 1階 視聴覚室
出席者	<p><委員>前島京、杉原明子、一井靖子、吉村美穂子、門馬晶子、河野美晴、岩崎正敏、池田めぐみ、飯野露子、佐藤裕子、真鍋五十鈴、白政幸子、酒井めぐみ、神山繁樹、櫻井勉</p> <p><事務局>坂本眞実（教育企画課長）、早川礼成（教育企画課長補佐（企画調整係））、坂本義隆（教育企画課企画調整係主任）、中村幸雄（教育企画課学務係長）、名古屋勇（学校運営課施設係主査）</p>
傍聴者	3人
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員の依頼 3 会議録の確認 4 通学区域の検討について 5 意見交換等 6 次回の開催日程について 7 閉会
会議資料の名称	<p>資料1 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会委員名簿(平成24年10月22日現在)</p> <p>資料2 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会(第3回会議)会議録(案)</p> <p>資料3 西東京市立学校通学区域図</p> <p>資料4 「(仮称)第10中学校」の生徒数及び学級数の推計</p> <p>資料5 【(仮称)第10中学校】と【田無第二中学校】町丁目別通学区域変更シミュレーション案</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><○発言者：発言内容></p> <p>議題1 開会</p> <p>議題2 委員の依頼</p> <p>○会長：これまで保育園に通う児童の保護者として、この協議会でご尽力いただいたフイスク恵美子委員に代わり、今回の会議から新しく酒井めぐみ委員に加わっていただくことになったので、よろしく願いしたい。</p> <p>⇒（酒井委員から簡単な自己紹介）</p>	

議題3 会議録の確認

- 会長：資料2として配布している前回第3回の会議録(案)について、何か訂正すべき箇所、お気づきの点などがあれば発言願いたい。(全体で会議録(案)の内容確認) ⇒
- 委員：前島京委員の名前が出席者欄に記載がないので、付け加えて欲しい。
- 会長：それでは、指摘のあった箇所を修正した上で、(案)を取って正式な会議録とさせていただきます。

議題4 通学区域の検討について

- ⇒事務局から資料3・資料4・資料5に基づいて、資料説明を実施。
- 会長：事務局から資料説明があったが、ご質問・ご意見等のある方は発言願いたい。
- 委員：資料4の生徒数には、URひばりが丘団地の売却に伴う子どもたちの増加分も見込まれているのか。
- 事務局：資料4の生徒数には含まれていないが、URひばりが丘団地跡地にマンション等が建設されても、直ちに中学生の生徒数が大幅に増えるとは考えられない。
- 委員：谷戸町にある郵政宿舎の跡地にマンションが建つ予定はあるのか。
- 事務局：現時点では、分かり兼ねるが、マンションが建つ可能性はある。
- 委員：現在の田無第二中学校とひばりが丘中学校の中だけでの検討なのか。周りの学校の通学区域も含めて良いのか。
- 事務局：今回の検討に当たっては、原則としては、現在の通学区域内での検討をしていただきたい。
- 会長：各グループごとに通学区域内の危険箇所等を含め、様々な観点からグループ協議をお願いしたい。

<グループ協議開始>

- 1グループ：杉原 明子、門馬 晶子、河野 美晴、佐藤 裕子、近藤 雅代、野澤 幸美
2グループ：一井 靖子、吉村 美穂子、岩崎 正敏、真鍋 五十鈴、酒井 めぐみ、神山 繁樹
3グループ：前島 京、浜口 ひろみ、池田 めぐみ、飯野 露子、白政 幸子、櫻井 勉
※各グループに事務局職員1～2名が入って協議を行った。

- 会長：グループごとに協議していただいた内容を発表していただきたい。
⇒各グループの代表者が順番に協議内容を発表
(白地図に通学区域の区域割の提案例を線引き(図示)して説明を行った。)

【1グループ】

- (主な協議事項等)
- 谷戸新道を渡らないことで、通学時の安全が図れる。
- 谷戸新道と西東京いこいの森公園で区切った場合には、「(仮称)第10中学校」の生徒数が少なくなってしまう。
- 住吉町4丁目や住吉町6丁目は、新ひばりが丘中学校へは距離が遠い。
など

【2 グループ】

(主な協議事項等)

- 交友関係等を考慮し、小・中学校の通学区域が同じなるようにする。
- 分かりやすい区域割、距離のバランスが大事である。
- 生徒数・学級数の差が大きくなる場合には、将来的には田無第三中学校も視野に入れる。

など

【3 グループ】

(主な協議事項等)

- 既存の田無第二中学校とひばりが丘中学校の通学区域の枠に捉われずに。(田無第三中学校の将来的な建替えも視野に入れるべき。)
- 通学区域が変更となっても、事前周知すれば良い。(学校選択制度で一定程度、希望も叶えられるので良い。)
- 「(仮称)第10中学校」は、「大」は「小」を兼ねる建物とすべき。
- 谷戸新道に沿って区域割を行うと分かりやすい良いが、東大農場があるため生徒数に差が出てしまう。

など

○会長：基本的には、各グループの協議内容は、それほどぶれていなかったように思う。次回の会議では、事務局から本日協議いただいたシミュレーション(案)による生徒数・学級数の将来予測を示してもらえるので、それらを基に改めて全体で検証していきたい。また、個人的には、次回以降、通学区域内を歩いて視察を試みたいと考えている。

議題5 意見交換等

○会長：本日の会議は、通学区域に関する事だったが、それ以外の意見や次回以降の検討事項又は資料について要望等はあるか。

○委員：UR跡地の購入について、進捗状況を教えて欲しい。

○事務局：市としては、最終的にURからどの位の面積を購入するか、緑化等の規制の部分なども含めて、検討している段階である。予定としては、当初お示ししているスケジュールに則って進めている状況である。

議題6 次回の開催日程

○会長：日程調整の結果、第5回会議の開催日時は、平成25年1月29日(火)の午後2時から4時頃までの2時間程度で開催するので、出席をお願いしたい。

議題7 閉会